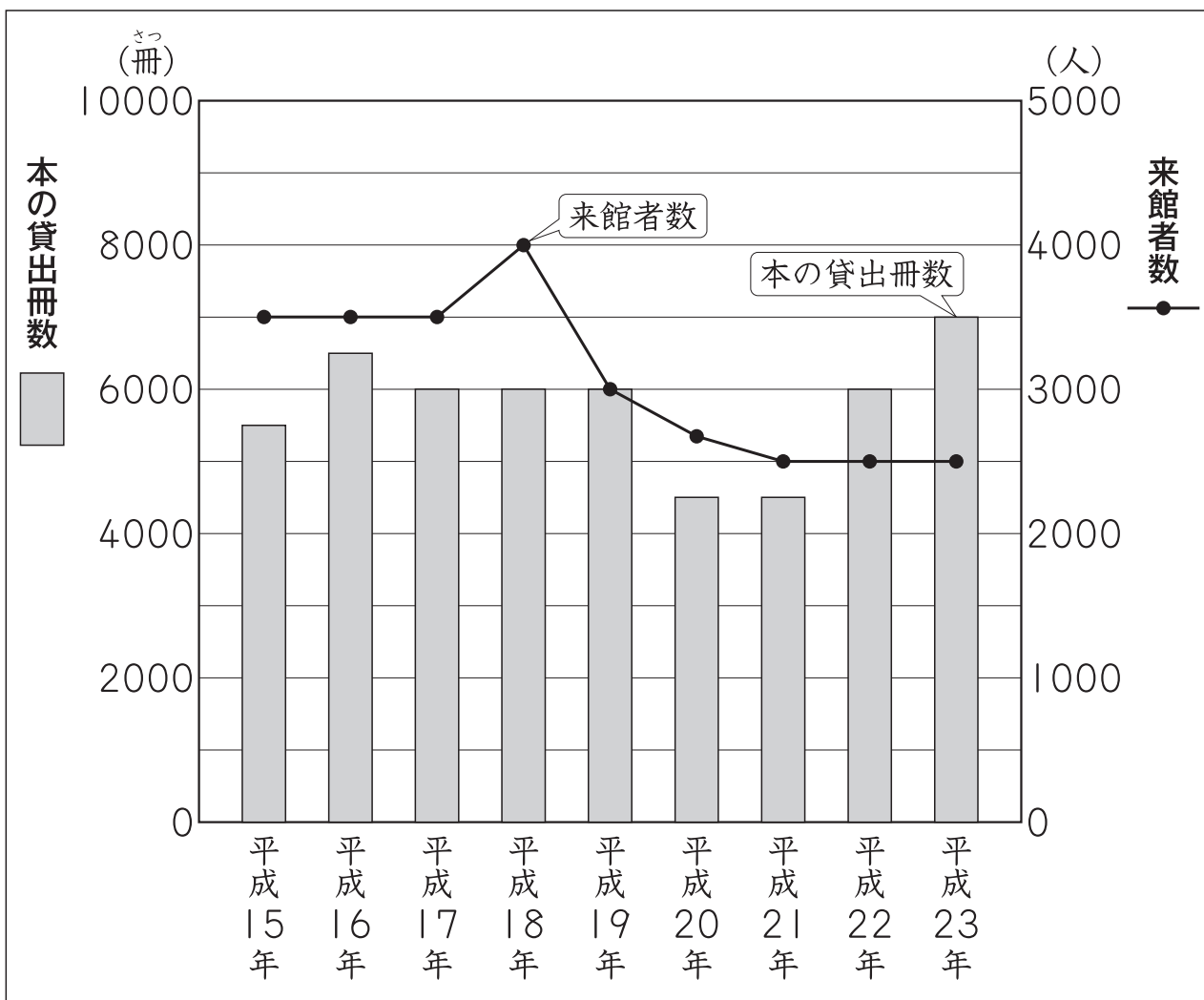


5

かずやさんたちは、図書館に見学に来ています。

- (1) 図書館の人が、平成15年から平成23年までの本の貸出冊数と来館者数
 (図書館に来た人の数) のグラフを見せてくれました。棒グラフは本の
 貸出冊数を、折れ線グラフは来館者数を表しています。

本の貸出冊数と来館者数



かずやさんは、グラフを見て、下のことに気がつきました。



かずや

来館者数は増えたり減ったりしているのに、
本の貸出冊数は変わらない**期間**があります。

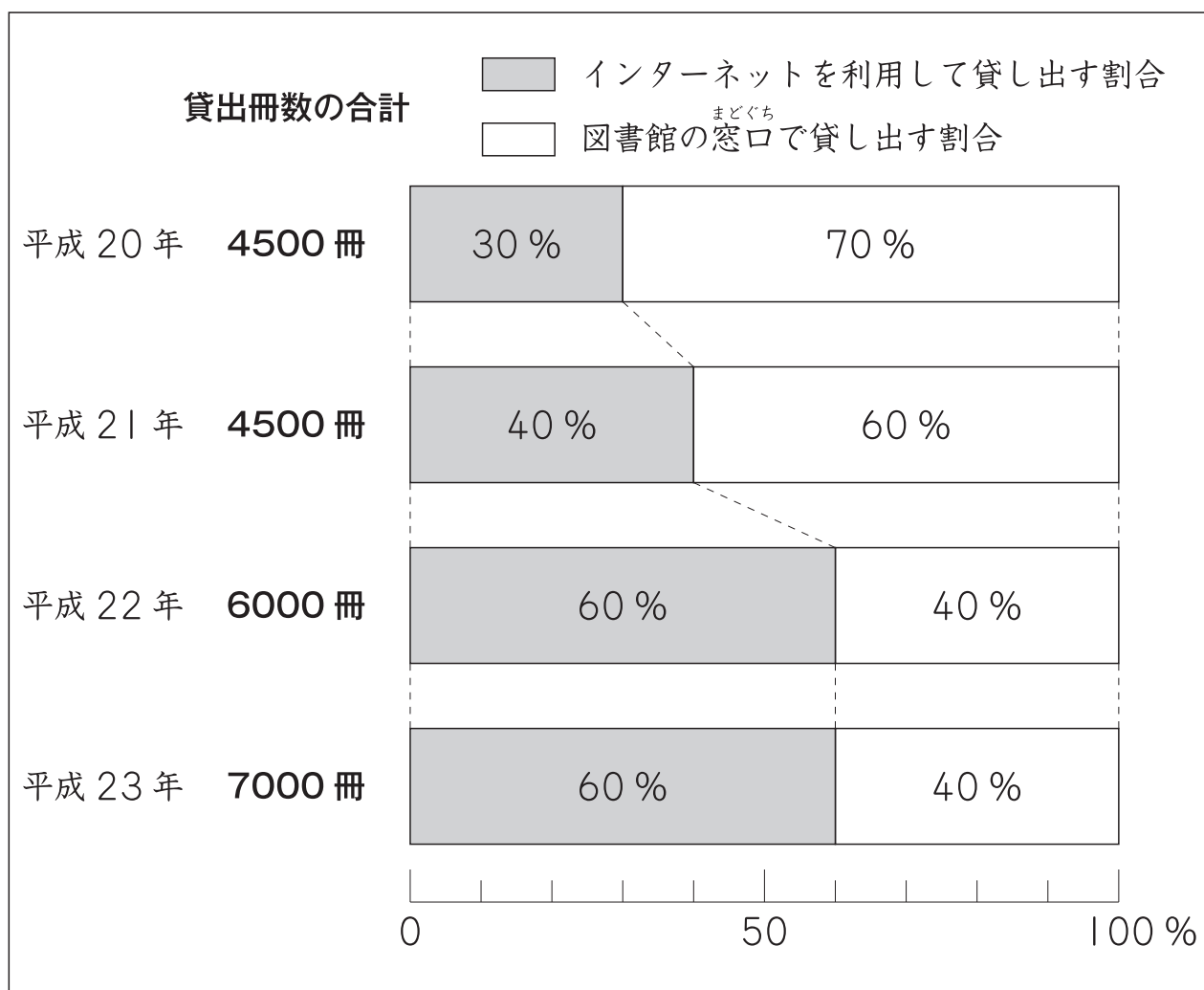
かずやさんが言った**期間**は、左のグラフの何年から何年までのことですか。
次の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** 平成 15 年から平成 17 年まで
- 2** 平成 17 年から平成 19 年まで
- 3** 平成 19 年から平成 21 年まで
- 4** 平成 21 年から平成 23 年まで

(2) 次に、図書館の人が、最近ではインターネットを利用して本を貸し出す割合が増えていることを教えてくださいました。

そして、次の帯グラフを見せてくれました。帯グラフは、平成20年から平成23年までの貸出冊数の合計とインターネットを利用した割合を表しています。

貸出冊数の合計とインターネットを利用した割合



かずやさんたちは、実際にインターネットの貸出冊数が増えているかどうかを調べます。

インターネットの貸出冊数は、次の式で求められます。

$$\text{貸出冊数の合計} \times \frac{\text{インターネットを利用した割合}}{100} = \text{インターネットの貸出冊数}$$

この式を使って、かずやさんとたまきさんは、平成20年と平成21年を比べました。



かずやさんの考え

30%と40%を小数で表すと0.3と0.4になります。

$4500 \times 0.3 = 1350$ なので平成20年は1350冊です。

$4500 \times 0.4 = 1800$ なので平成21年は1800冊です。

だから、平成21年のほうが増えています。



たまきさんの考え

30%と40%を小数で表すと0.3と0.4になります。

4500×0.3 と 4500×0.4 を比べると、もとにする量は同じで、割合は大きくなっています。

だから、平成21年のほうが増えています。

平成22年と平成23年を比べると、インターネットの貸出冊数は増えていますか。下の **1** から **3** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、2人の考えのどちらか一方をもとにして、言葉と数や式を使って書きましょう。

- 1** 平成22年より平成23年のほうが増えている。
- 2** 平成22年より平成23年のほうが減っている。
- 3** 平成22年と平成23年は変わらない。